

第2回 院生企画研究会

誕生と死をめぐる

生命観の変容



2017年12月23日(土) 14:00~17:00

関西学院大学 上ヶ原キャンパス
大学院1号館2階209号室

企画趣旨：

現代における誕生と死をめぐる状況は、さまざまな価値観のなかで転換期を迎えているといえる。本研究会では、板橋春夫教授をお迎えし、誕生や死に関する民俗学的知見についてご講演いただく。そして、看護職者として死や誕生に関わってきた研究会メンバーの体験談等を交え、この問題に対して、民俗学や社会学といった学問の立場からどのような貢献が可能なのかについて考えていきたい。

板橋春夫教授プロフィール：

日本工業大学・教授。新潟県立歴史博物館参事を経て、2017年4月から現職。専門は日本民俗学。筑波大学で博士（文学）を取得。

主な著書に、『誕生と死の民俗学』『出産—産育習俗の歴史と伝承「男性産婆」—』『生死—看取りと臨終の民俗・ゆらぐ伝統的生命観—』『葬式と赤飯—民俗文化を読む—』（以上単著）、『日本人の一生—通過儀礼の民俗学—』（編著）がある。

主催：「誕生と死をめぐる生命観の変容」班 後援：関西学院大学先端社会研究所
参加無料・予約不要 お問い合わせ：okaiku@kwansei.ac.jp(岡いくよ)